

● まずは問題を解いてみてください。(解答時間:15分 目標)

問1 アンモニアの解毒を行う代謝経路はどれか。

- ① クエン酸回路
- ② オルニチン回路
- ③ 電子伝達系
- ④ β 酸化
- ⑤ 解糖系

問2 ショックの症状として適切でないのはどれか。

- ① 低血圧
- ② 低体温
- ③ 可視粘膜蒼白
- ④ 血圧上昇
- ⑤ 心拍数上昇

問3 以下の薬剤のうちてんかんの治療に用いる薬剤として適切なものはどれか。

- ① フェノバルビタール
- ② アトロピン
- ③ ピモベンダン
- ④ リドカイン
- ⑤ プラジクアンテル

問4 ウイルスについての説明として適切でないのはどれか。

- ① ウイルスに含まれるゲノム（遺伝子）はDNAかRNAのどちらか一方である。
- ② パルボウイルスやカリシウイルスはエンベロープを持たない。
- ③ ウイルスには細胞小器官は存在しない。
- ④ 宿主細胞を必要とし、自己増殖できない。
- ⑤ ウイルスは二分裂により増殖する。

問5 写真の虫卵に関する記述として適切なものはどれか。

- ① 駆虫はプラジクアンテルを用いる。
- ② ノミの経口摂取により感染する。
- ③ 寄生部位は赤血球内である。
- ④ イベルメクチンが有効である。
- ⑤ 栄養体は環境中ですぐに死滅する。



問6 免疫に関する記述として誤っているのはどれか。

- ① 自然免疫に働く細胞は、形質細胞やキラーT細胞である。
- ② 細胞性免疫では、細胞傷害性T細胞が直接感染細胞を攻撃する。
- ③ B細胞により産生された抗体が関与する免疫反応を液性免疫という。
- ④ サイトカインなどの物質により免疫反応の調節や情報伝達が行われる。
- ⑤ 免疫記憶細胞により同一の抗原が侵入した際に、即座に生体が反応できる。

問7 写真の器具により測定する項目として正しいのはどれか。

- ① 体温
- ② 呼吸数
- ③ 血圧
- ④ 動脈血酸素飽和度
- ⑤ 眼圧



問8 小腸性下痢の特徴として適切なのはどれか。

- ① しぶりが認められる。
- ② 鮮血便が見られる。
- ③ 一般的には体重減少は認められない。
- ④ 脂肪便が認められる。
- ⑤ 排便回数は増加する。

問9 動物のトリアージについて、緊急の対応（処置）が必要となる疾患として適切なのはどれか。

- ① 膝蓋骨脱臼
- ② 胃捻転胃拡張症候群
- ③ 犬アトピー性皮膚炎
- ④ 白内障
- ⑤ 細菌性膀胱炎

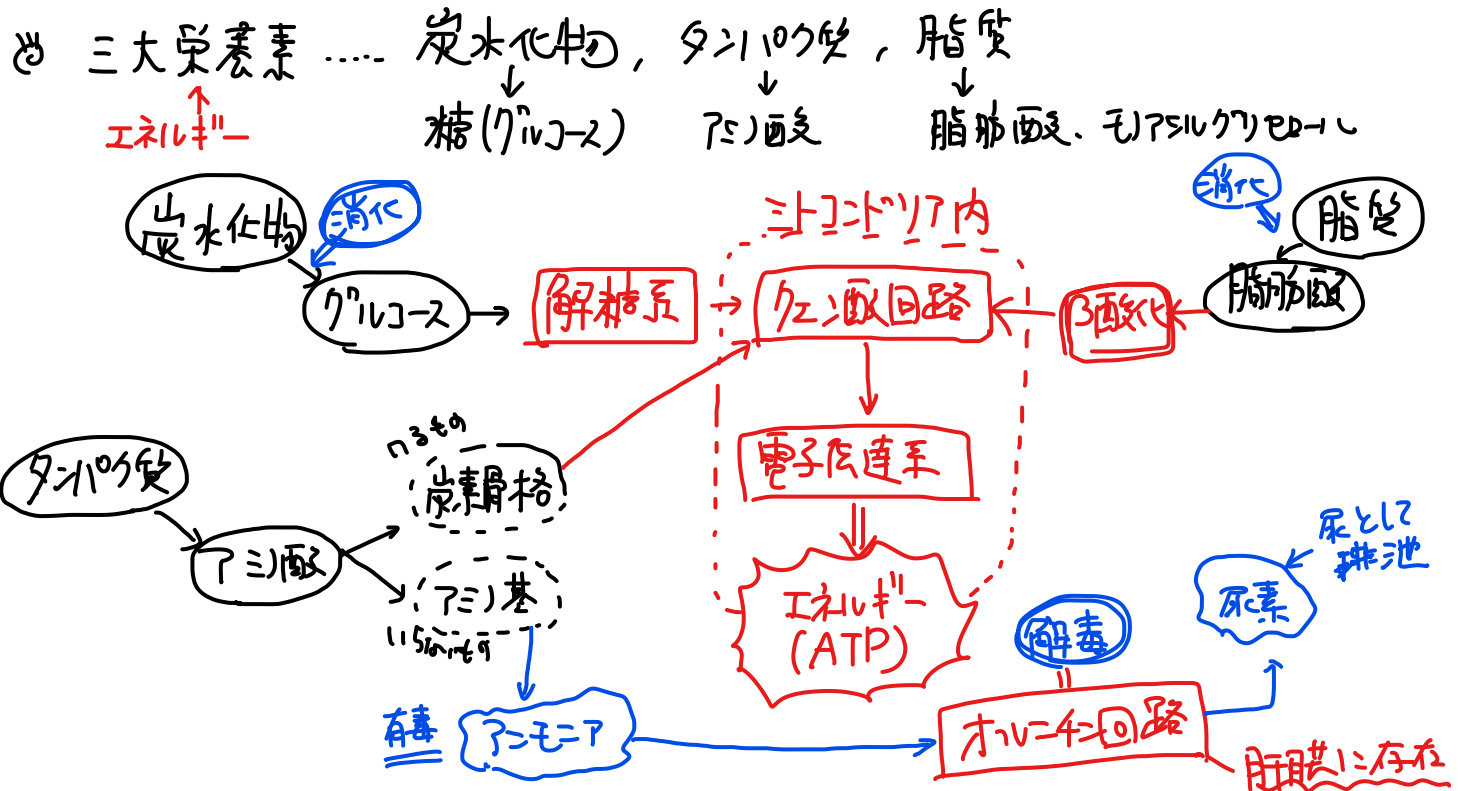
問10 写真に示す動物の説明として適切なのはどれか。

- ① 飼育時は単独での飼育が望ましい。
- ② 妊娠期間は20日前後である。
- ③ 切歯のみ常生歯で一生伸び続ける。
- ④ 乳頭は1対である。
- ⑤ 体内でビタミンDの合成ができない。



問1 アンモニアの解毒を行う代謝経路はどれか。

- ① クエン酸回路
- ② オルニチン回路
- ③ 電子伝達系
- ④ β 酸化
- ⑤ 解糖系



問2 ショックの症状として適切でないのはどれか。

- ① 低血圧 ✓
- ② 低体温 ✓
- ③ 可視粘膜蒼白 ✓
- ④ 血圧上昇
- ⑤ 心拍数上昇 ✓

毛細血管再充時間 (CRT)

ショック ... 重度の刺激により、急速に心拍出量が減少した結果末梢組織において重度な循環障害が起る。

⇒ 低酸素などによる代謝不全が起る。

[症状] 低血圧、低体温、呼吸速短、心拍数増加。

血圧低下、 O_2 欠乏

血圧の低下に対して反射的に不全に起ったショックでは心拍数↓

- ① 出血性ショック
- ② 心原性ショック
- ③ 敗血症性ショック (エンドトキシショック)
- ④ 神経原性ショック
- ⑤ アナフィラキシーショック → I型アレルギー

問3 以下の薬剤のうちてんかんの治療に用いる薬剤として適切なのはどれか。

- ① フェノバルビタール
- ② アトロピン
- ③ ピモベンダン → 処方
- ④ リドカイン → 局
- ⑤ プラジクアンテル

副交感神経の切断果

副交感神经

↓ 心率 ↓, 血压 ↓
 缩睡, 消化管运动 ↑
 Tc 分泌 ↓

→ 強心劑

局所麻痺薬

抗不整队案

↓ 肠虫药 (条虫、吸虫)

10. 抑制 ↑
血 ↑
分泌 ↑
反射 ↑
抑制

乙未年

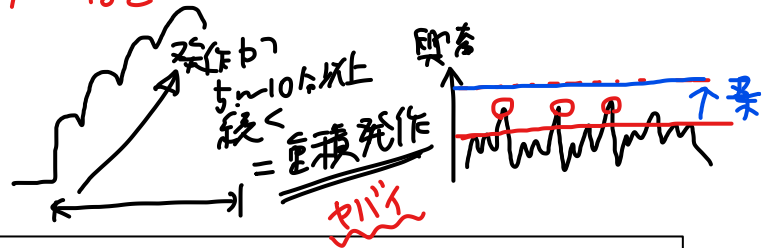
↳ 体の発作と硬直を主徴として=疾患

(① 特殊性エロかん ← 6才までに達したの
② 構造性エロかん

治療、 折でわかん菜 ソレサド、フジハルビヌナシ、Uハナモク、臭化カリウム
ガバ"ハ"ンチン など

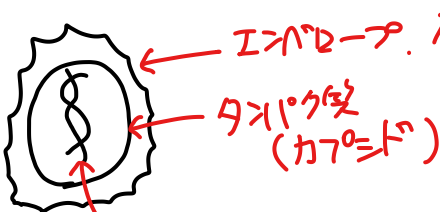
① 短期間に何度の発作
= 群発発作

2



問4 ウイルスについての説明として適切でないのはどれか。

- ① ウイルスに含まれるゲノム（遺伝子）はDNAかRNAのどちらか一方である。✓
- ② パルボウイルスやカリシウイルスはエンベロープを持たない。✓
- ③ ウイルスには細胞小器官は存在しない。✓
- ④ 宿主細胞を必要とし、自己増殖できない。✓
- ⑤ ウイルスは二分裂により増殖する。



核酸 (コア)

⇒ DNA か RNA の
区別

[illegible]

無_二→ ハルホ、テリ、カリシ、ロ。

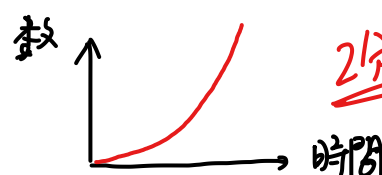
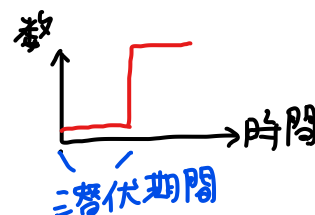
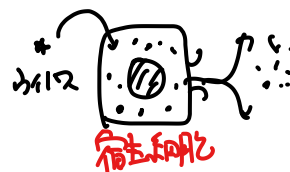
3211

消毒工程 = C.U

● 小麦にイロイロな色を付ける。

⇒ 光学显微镜 不可见之故

。分裂しちゃえん！

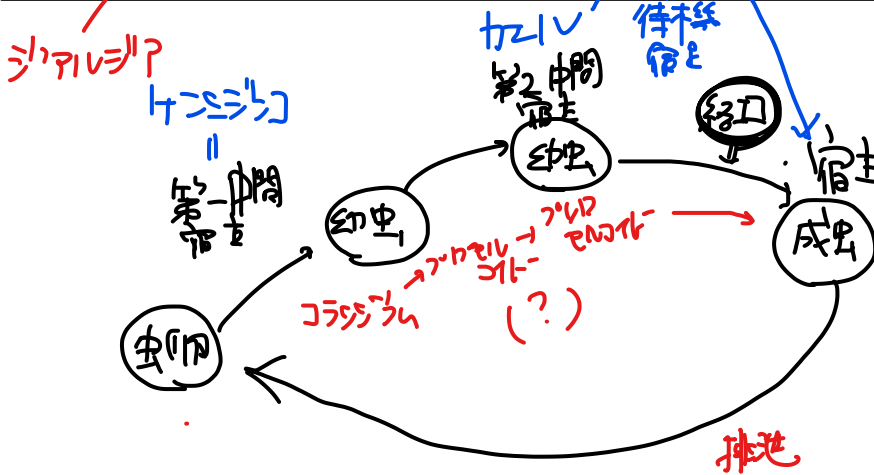


212311 増延

可能 (高) グリニ-イリデヒド
(中) 次亜塩素酸水
ホトニョト

問5 写真の虫卵に関する記述として適切なのはどれか。

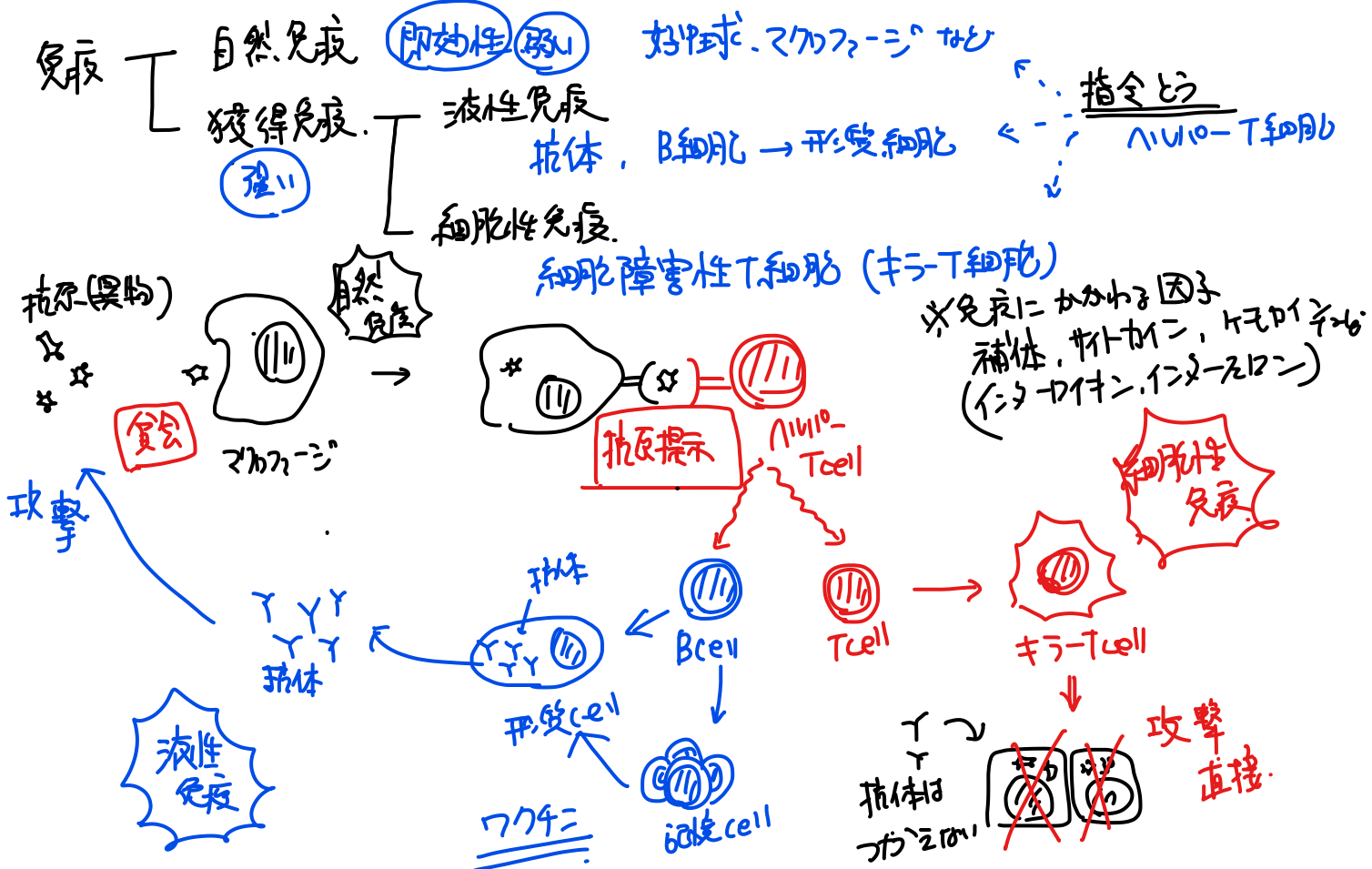
- ① 駆虫はプラジカンテルを用いる。✓ *仙突糸虫*
- ② ノミの経口摂取により感染する。✓ *ハナハシア (マダニの卵)*
- ③ 寄生部位は赤血球内である。→ *糸虫数*
- ④ イベルメクチンが有効である。→ *糸虫数*
- ⑤ 栄養体は環境中ですぐに死滅する。



マダニの卵
ハナハシア

問6 免疫に関する記述として誤っているのはどれか。

- ① 自然免疫に働く細胞は、形質細胞やキラーT細胞である。✓ *獲得*
- ② 細胞性免疫では、細胞傷害性T細胞が直接感染細胞を攻撃する。✓ *細胞性*
- ③ B細胞により産生された抗体が関与する免疫反応を液性免疫という。✓ *細胞性*
- ④ サイトカインなどの物質により免疫反応の調節や情報伝達が行われる。✓
- ⑤ 免疫記憶細胞により同一の抗原が侵入した際に、即座に生体が反応できる。✓



問7 写真の器具により測定する項目として正しいのはどれか。

- ① 体温
- ② 呼吸数
- ③ 血圧
- ④ 動脈血酸素飽和度 → SpO_2
- ⑤ 眼圧



問8 小腸性下痢の特徴として適切なのはどれか。

- ① しぶりが認められる。大
- ② 鮮血便が見られる。大
- ③ 一般的には体重減少は認められない。大
- ④ 脂肪便が認められる。小
- ⑤ 排便回数は増加する。大

消化し
吸収

水の吸収
便の貯蔵

	小腸性下痢	大腸性下痢
排便回数	変わらない	増加
しぶり	なし	あり
食欲	落ちる＝エネルギー消費あり	ふつうは変わらない
体重減少	落ちる＝エネルギー消費あり	ふつうは変わらない
便の性状	・黒色便(タール便) ・脂肪便 ・量が増える	・鮮血便 ・粘液便 ・量は変わらない

問9 動物のトリアージについて、緊急の対応（処置）が必要となる疾患として適切なのはどれか。

- ① 膝蓋骨脱臼
- ② 胃捻転胃拡張症候群
- ③ 犬アトピー性皮膚炎
- ④ 白内障
- ⑤ 細菌性膀胱炎

いつもおいていて、手にもおす、おきまわす
あつに外れる 3 or 4
||
ゲート 3

← 内臓脱臼、小腸
← Ⅰ型!
← 結核の病変
pHが高い
⇒ アルカリ性 ⇒ ストリーク
↑ 制限
Mg

問10 写真に示す動物の説明として適切なのはどれか。

- ① 飼育時は単独での飼育が望ましい。
- ② 妊娠期間は20日前後である。
- ③ 切歯のみ常生歯で一生伸び続ける。
- ④ 乳頭は1対である。
- ⑤ 体内でビタミンCの合成ができない。



モルモット

モルモット 4つ歯数

寿命: 6~7年 ・ 切歯も臼歯も常生歯 ← 一生のびる

・ 社会性あり ⇒ 単独よりも複数の方がいい

妊娠期間: 63~72日 ・ 乳頭は1対(2つ)

★ 体内でビタミンCを合成できない!!

